

# 山形県スポーツ少年団

# 大空に翔る

平成22年 3月発行  
No.26

発行  
(財)山形県体育協会  
山形県スポーツ少年団  
山形市松山 2-11-30  
☎(023) 625-5750  
<http://www.yamagataken-taikyo.or.jp/>  
印刷 (株)大風印刷

## 支部だより



スポーツ少年団認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会  
村山(東南コース)(村山支部)



第32回全国スポーツ少年団剣道交流大会予選会(最上支部)



第45回山形県スポーツ少年大会兼  
平成21年度ジュニア・リーダースクール(置賜支部)



第36回日独スポーツ少年団同時交流受入事業(庄内支部)

陽春の春を迎え、各団におかれましては、新たな団員が入団され、希望に満ちた活動を展開されておられることとお慶び申し上げます。

平成二十一年度の県本部事業も関係各位のご協力・ご尽力によりまして、予定通り、無事終了することが出来ました。厚く御礼申し上げます。

さて、予てから、子ども達の体力低下について、いろいろと話題にされ、議論されて来たところですが、この度のスポーツジャスト四六六号に、文科省の学習指導要領の考え方が紹介されており、私たちスポーツ少年団関係者に、大きな道しるべになるものと考えます。小学校から高等学校に至る成長期を、基本的な動きを身につける時期、多くの領域の運動を体験する時期に区分し、それに必要な遊びや運動によって身につけさせる。しかし、時間的に不足であろうところは、学校での休憩時間や放課後に、そして、家庭や地域として。平成二十一年度も、一〇五〇団・二二五八四名の団員、五八二三名の指導者の登録を戴きました。

本部の団員登録が、小学生が主体で有ることを考え、大切にして行かなければと思う次第です。

各団と指導者の、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

ごあいさつ



山形県スポーツ少年団  
本部長 梁瀬 吉弘



スポーツ少年団は、小学校を卒業すると同時に卒団すると思われるがちですが、中学生以上も団員として活動できます。認知度が低いということ、部活動が始まるとスポーツ少年団に参加する時間がないということもあり、中学生以上の団員が少ないのが現状です。しかし、小学校を卒業してからも今まで続けてきた専門競技の技術を伸ばしたい、または今までスポーツ少年団で取り組んできたスポーツが部活動では存在しないがもう少し頑張りたい、スポーツが大好きで将来スポーツ指導者を目指している、個々の長所を伸ばしたい、など様々な目的で活動を通じている団員はいます。年間を通して活動している場合がスポーツ少年団です。そして山形県にはもう一つ、様々な目的を持つ人たちが集う山形県スポーツ少年団リーダー会という組織があります。男女や種目は問わず、山形県内で団員登録している高校生から二十一歳までの方なら誰でも参加することができ、リーダーは指導者と区別され、指導者と団員のパイプ役を担います。小学生の団員にとっては身近な先輩にもなります。

# リーダー会の活動について

活動内容は研究会への参加、交流会やリーダースクール等の運営補助、各種行事の事前研修会や事後研修、総会の開催です。三年前には、全国スポーツ少年大会や北海道・東北ブロックリーダー研究大会などの大きな大会が山形県で開催さ



もちろんスポーツ少年団と同様、専門種目の技術力向上の他に、発育発達期にバランスのとれた運動能力の発達、協力することや相手をいたわることの大切さ、自ら考えて行動する能力を習得する



れましました。大会ではリーダー会が中心となりプログラムの企画、会場や物品準備、運営を行いました。リーダー会全員が協力し、大会を大成功におさめることができた時は、全国の団員と感動を共にし、満足感と充実感、やり遂げた達成感を味わうことができました。また、責任感を持つて挑戦できたこと、普段経験できないことができたことはリーダー会全員にとつて大きな自信と誇りにつながったように思います。リーダー会の活動は全国区で行われていますが、山形県リーダー会は県内だけでなく、全国区で活動、活躍しているのです。また、毎年夏に中学生を対象に県内で開催されるジュニアリーダースクールの参加するとジュニアリーダーの認定を受けることができます。さらに、日本全国で開催されるシニアリーダーに認定を受けることができます。シニアリーダーの認定を受けると日独同時交流の派遣団員としてドイツに行き、貴重な経験ができました。認定員の資格が得られます。山形県スポーツ少年団リーダー会からも、多くの先輩方が日独同時交流に参加して



場でもあります。このようなことから豊かで健全な生活を営むところからたの成長が養われると言えます。現代社会において人間関係の稀薄化、学歴社会の進展、遊び場所としての自然的環境の喪失、塾通い、習い事の増加などにより、地域による教育力は低下していると言われていいます。また、少子・高齢化や核家族の増加といった社会的問題もあり異なる年齢集団で遊ぶことやお年寄りと接する機会が少なくなりました。以前は、学校外の生活や遊びの中で培われていたコミュニケーション能力や思考力、判断力、決断力が失われつつあることを学校教育でも重視し、国際化や情報化をはじめ社会の変化に対応できる資質や能力を育成するために、「活動・体験」学習を中心とした総合的な学習が教科として設置されています。

地域に基盤をおいたスポーツ少年団の活動は多様な年齢層で構成され、自主的に協力しながら行っている活動であることから、老若男女が自らの力で、楽しみながら活動を支えているため社会性を身につけることができます。もちろん山形県リーダー会も自主・自律的に活動し、共に笑い、仲間と経験・感動を分かち合いながら活発なリーダー会を目指して活動しています。ぜひ一緒に人生のスキルアップを図り、活動しましょう。



手続きや疑問点がありましたら、各団の指導者、または山形県スポーツ少年団事務局までお問い合わせください。山形県スポーツ少年団  
リーダー会指導者 廣川 由香

## 市町村の動き

大石田町スポーツ少年団事務局

大石田町では、「町民一人一スポーツ」を合言葉に、町民スポーツレクリエーション大会等を開催し、町民のスポーツ参加と健康の促進に取り組んでいる。

当町スポーツ少年団も、レクリエーション大会では、単位団対抗のドッジボール大会を開催し、各団の交流とスポーツ活動の推進を行っている。

当町スポーツ少年団は、平成二十一年七月現在で、七単位団一七八名が活動している。町内小学生の三割近くが活動し、団員数が少ない中、県大会上位入賞や、全国大会出場者なども出ている。

しかし、昨今の少子化に伴い、団員数の減少・団の統合が進行しており、町本部としても、団員の確保が課題となっている。青少年期には、勝ち負けにこだわらず、まずはスポーツの楽しさを実感することが大切であると考え、そのために、スポーツの楽しさを実感できる場をいかに提供できるかを町本部としても考えていきたい。

今後は、各団との連携を今まで以上に図り、地域に根ざしたスポーツ少年団活動に取り組んでいくとともに、次代を担う子どもたちが、健全な成長と豊かな人間性を育めるよう貢献していきたい。

# 単位団紹介

## ファイヤーズスポーツ少年団

代表指導者 渡辺 信一

我がファイヤーズスポーツ少年は、村山市の楯岡小学校を中心とした少年野球チームです。以前は「新町ファイヤーズ」として活動していましたが、近年の児童数の減少等もあり、地域の垣根をこえ、野球の好きな子供達を集めようと、三年前に地区名を無くし「ファイヤーズ」として活動しています。今年と同じ市内の富並小学校からの仲間も加わり、現在二十四名で活動しています。

チームのモットーは、「試合で負けても声では負けるな!」です。元氣と挨拶だけは日本一を目指して頑張っています。今年は、六年生が一人もいなく元氣もちよびり足りず、春から連敗続きでした。しかし、その負け試合の中から子供達は何かを学び、仲間を信じ、声をかけ合い、真剣に練習に励み成長し、少しずつ良い試合ができるようになっていきました。その結果、秋の新人戦では、地区優勝の栄光を手にする事ができ、今後の活躍が楽しみです。子供達が中学・高校と進んでいく中で壁にぶつかつたとき、スポーツでの経験が少しでも役立てばと指導者陣は、日々指導にあたっています。そして、将来社会人になってからも野球を愛し、仲間を大切にし、地域の担い手となり私達指導者の後継者として、また一緒に活動できる日を楽しみにしております。



## 大堀サッカースポーツ少年団

代表指導者 板垣 誠弘

こんにちは、大堀サッカースポーツ少年団です。六人のオリンピックピック選手を輩出している「スキー」が町技の最上町にあつて、当団は「サッカー」が好きな子ども達の活動の場として、平成十年に発足しました。現在の団員児童数は二十一名で、指導スタッフは私も含めて六名です。母集団は、保護者とOBを交えて構成されています。



少子化で、各少年団がチームを維持できなくなっている中で、全校生徒一三二名の大堀小学校を母体としながらも、県大会出場レベルを維持しながらがんばっています。大堀の子どもは「よく走る」といわれます。それは、サッカーの技術的なトレーニングを行うにも、スピードを意識したり、反復の度合いを競い合ったりすること、根性や持久力がついていることだと分析しています。また、「すごい!」「すばらしい!」という、がんばりやアイデアを認める声かけが効いているとも考えられます。

こうした積み重ねで、今まで高校のサッカー選手権全国大会に、四人の先輩が出場するまでになりました。私たちは、当団から巣立った子供達が、自ら立てた目標に向かって努力を続けられる人材になり、社会のあらゆる場面で活躍してもらいたいと願っています。

## まほろば尚武剣道スポーツ少年団

代表指導者 遠藤 良二

当スポーツ少年団は、昭和五十七年に発足した団体で、現在、小・中学生、指導者を含め三十一名で活動しています。昨今のスポーツ界は、とかく勝敗にこだわりがちになっている感があります。もちろん剣道も勝負の世界ですから勝者と敗者に分かれませんが、勝敗よりも、そこまでのプロセスを大切に稽古を積んでいます。勝つ事は目標であつて、目的ではないと考えています。幕末の剣豪島田虎之助が説いた「剣は心なり。心正しからざれば剣また正しからず。」という言葉があり、その言葉に感銘し、「団旗に「剣心」を使用させていたたいと思っています。両親や他人を敬う気持ちや礼儀正しさ、何事にも積極的な気持ちで取り組むなど、正しい心が育まれば、剣道も自ずと上達する事を教えており、私たち指導者、後援会、団員が日々心にとどめて稽古に励んでいます。

毎年二月には、当少年団主催の「まほろば尚武杯争奪少年剣道大会」を行っています。今年で第二十四回を迎えます。当初は置賜地区から一〇団体程度の参加で始まった大会が、今では庄内地区、近隣県や関東地区からの参加もあり約七〇チームで開催しています。これからも友好団体との友情の絆を深め、地域や関係機関に感謝しながら活動して参りたいと思います。



## 余目卓球スポーツ少年団

代表指導者 加藤 正則

「二球入魂!!」余目卓球スポーツ少年団は、五つの小学校から児童が集まり活動しています。しかし、五つの小学校から入団しているとはいえ、少子化に伴い、入団児童数は減ってきています。入団児童数は減少しているものの指導してくれるコーチの熱い思いは変わらず、毎週火曜日と金曜日の週二回、基本練習を中心にを行っています。その甲斐あつて今年度は、個人の部で五名が兵庫県で行われた全国大会に出場し、団体の部で四名が東京都で行われた全国大会に出場することができました。



卓球は、個人競技が中心の競技と思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、日々の練習の中で友達の良さを認め合ったり、試合の時には「ファイト!」「ごんまい!」と励まし合い、とりくんでいるスポーツです。このような、自分のありのままを受け止め直すことで友達の良さに気付いたり応援したくなる卓球は、心の成長にもつながっていると思います。現在卓球人口は少なくなっていますが、人と人の心の通い合いの一つとして卓球というスポーツの良さを普及していく機会を多く作っていきたいと思います。日この頃です。

## これまでのスポーツ少年団

### 組織

運営形態や他の関連団体との連携をめぐる課題

- ①理念・目的の再確認
- ②名称の検討
- ③組織の円滑な運営のための財源確保
- ④総合型地域スポーツクラブとの関わり
- ⑤競技団体及び青少年団体との連携の強化
- ⑥中学生・高校生の加入促進
- ⑦学校及び行政との関わり方の充実
- ⑧市町村スポーツ少年団の強化

### 団活動・運営

単位団をはじめ各スポーツ少年団の活動・運営についての課題

- ①勝利至上主義偏重からの脱却
- ②多様なスポーツ活動
- ③指導者の養成、研修のあり方
- ④リーダー養成のあり方
- ⑤育成母集団の育成と活用
- ⑥対象年齢の拡大(幼児の加入)
- ⑦活動場所の確保

### 事業

各種事業等での課題

- ①指導者・リーダーの養成研修(資質の向上・人員の増加)
- ②国内交流活動のあり方
- ③国際交流活動のあり方
- ④内外への広報活動のあり方

指導者の資格取得率の伸び悩み、リーダースクール参加者の減少、全国スポーツ少年大会の参加率の停滞、全国および各地の競技別交流大会の過熱化などの課題がある。

## これからのスポーツ少年団

### ◇理念の再確認と新たな視点

- ☆一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する
- ☆スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる

★「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」※新たな視点として

子どもたちの社会性を育むという観点で言えば、スポーツ少年団の活動は社会から期待されるものである。スポーツ少年団が社会貢献できたとき、地域から大きな評価を得ることができる。地域社会で、そして地域の多くの人々と一体となって青少年を育て支えていくという姿勢が一層必要となる。

### ◇今後の取り組みの方向性と活動目標(1) 「子どもたちのからだを育てる」

- ①子どもたちのからだを育て、体力の増進を図る
- ②子どもたちのこころを育てる

### ◇今後の取り組みの方向性と活動目標(3) 「活動の更なる充実に向けて」

- ①多彩な運動プログラムの提供と運動適性テストの活用
- ②勝利至上主義偏重からの脱却
- ③団員の加入率アップと中高校生のスポーツ活動の促進

### ◇今後の取り組みの方向性と活動目標(2) 「子どもたちや地域社会のニーズに応える組織の構築」

- ①子どもたちのニーズに応える組織
- ②地域社会から期待され青少年の健全育成に貢献する組織の確立
  - a. 幼児期から青少年期までのスポーツを担う団体
  - b. 地域社会からの認知度の向上
  - c. 地域における育成母集団の役割の拡大
- ③地域スポーツクラブとしての発展

### ◇今後の取り組みの方向性と活動目標(4) 「各種事業の展開」

- ①指導者・リーダーの資質向上事業の充実
- ②国内・国際交流活動を通じた国際人の育成事業の推進
  - a. 国内交流活動の一層の促進
  - b. 日独交流の更なる発展
  - c. アジア諸国との交流促進
  - d. 全国各地の国際交流を支援

## 今後の展開

今後は、今回提案された将来像を踏まえるとともに、日本体育協会が示す「21世紀の国民スポーツ振興方策」の指摘事項などを考慮し、スポーツ少年団に関わる全ての人々が一丸となって、スポーツ少年団の充実・発展及び諸課題の解決に全力を挙げて取り組んでいく必要があると考えられる。

※なお、「スポーツ少年団の将来像」の全文については、日本体育協会のホームページでご覧いただけます。

# スポーツ少年団の将来像について

山形県スポーツ少年団  
事務局長 藤 沢 進

これは、平成21年6月10日に、日本スポーツ少年団により取りまとめられた「スポーツ少年団の将来像」の概要を集約したものです。

## スポーツ少年団の将来像作成の背景

### 現場の声

青少年を取り巻くスポーツや遊びの環境も大きく変化し、スポーツ少年団の活動にも様々な点で問題や課題が生じている。



現状の課題を整理し、日本の青少年スポーツ事情を踏まえた上で、近未来ではなくその先を見据え、進むべき方向性を示したい。

スポーツ少年団の将来像は第8次育成5か年計画の中で検討することとなり、平成19年度(3年次)から2か年にわたるプロジェクト会議にて、理念や顕在化している諸課題だけではなく、現場における指導方法に至るまで広範な議論が行われた。



## スポーツ少年団将来像の全体構成

※平成21年6月10日 取りまとめ

### 創設の理念

創設当初からの「理念」、「活動指針」を顧みる。

### これまでのスポーツ少年団

スポーツ少年団の創設からの発展を顧みて、果たしてきた役割や現状における課題などについてのまとめ。

### これからのスポーツ少年団

理念の確認と提案、課題・社会情勢を踏まえたこれからのスポーツ少年団の方向性と活動目標について提案。



スポーツ少年団の将来像で提案している方向性と活動目標は、各スポーツ少年団・指導者などスポーツ少年団に関わる全ての人々が同じ課題意識と努力目標を共有し、スポーツ少年団を発展させていこうとするもの。

## 創設の理念

### 理 念

- ◇一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する。
- ◇スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる。

### 活動指針

- ◇スポーツによる青少年の健全育成。

### 活動場所

- ◇地域社会全体で子どもたちを育てる。

1962年(昭和37年)6月に財団法人日本体育協会創立50周年事業として創設された。スポーツ少年団の組織作りは、既に歴史と実績があり、地域に根ざした活動をしているドイツのスポーツツェンゲントやスポーツクラブを参考に進められた。スポーツ少年団の活動拠点は地域社会の中におかれ、社会教育の一環として取り組むこととなった。

# 団員の夢

## 私とスポ少



おもだカラビツツ  
スポーツ少年団  
笹原 碧

私がスポ少を始めたのは、三年生の時です。スポ少に入った理由は、私のお父さんとお母さんがソフトバレーをやっていて面白そうだなあと思ったからです。

初めは、体力作りと基本練習だけでした。ボールを受ける時の手の向きや体勢、足の動き、ボールを使つてのパス練習などは、まださせてもらえませんでした。基本練習ばかりで少しだけイヤになった時もありました。でも、友達と一緒にすることが楽しくて、練習もがんばることができました。

今は、セッターをやっています。セッターは、うまくトスをあげないと、アタックが打てなくなってしまうのでとても難しいポジションです。私が上げたトスを、友達がスパイクを決めてくれると、とてもうれしいです。あげにくいボールでも、あきらめずに上げて点を取ると、あきらめなくてよかったなあと思います。

試合中のチームメイトや後輩の応援そして家族の応援がとてもうれいんです。みんなの応援を力にして、今までの練習の成果を出して、試合に勝ちたいです。そして、これからも、みんなと楽しく力を合わせて、スポ少を続けていきたいです。

## 僕とクロスカントリースキー



有屋スキー  
スポーツ少年団  
丹 智貴

ぼく達の有屋スキースポ少は、六年生から二年生まで三十一名の団員で、ぼくはキャプテンをしています。

夏はマラソン大会、ソフトボール大会にむけてグラウンドで練習しています。冬はクロスカントリースキー大会に向けて、カムロスキー場で練習しています。有屋小学校の六年生と五年生は十五人いますが、全員スポ少に入っています。毎週火曜日と木曜日の夜がスポ少で、指導者方がきて教えてもらっています。

ぼくたちの目標は金山町で集まって行われる、学童スキー大会の男子女子リレーでアベック優勝することです。それと、個人で全てのスキー大会で上位入賞を目指しています。それに向けて自主練習をしている人もたくさんいます。

ぼく達は今年、金山町のとこみどりマラソン大会の駅伝で、男子と女子のアベック優勝をしたので、来年も優勝をめざしてがんばってほしいです。

これからスキーシーズンなので、気合いを入れてがんばります。結果を期待してください!!

## ぼくの夢



小国サッカー  
スポーツ少年団  
渡部 拳人

ぼくの夢は、中村俊介のようなサッカー選手になることです。

サッカーを始めたきっかけは、モンテディオ山形がJ2の時に試合を見に行ったことでした。プロ選手がボールをすごい勢いで蹴るプレーがすごかったよかったです。

小学三年生の秋からスポーツ少年団に入りました。ボールを蹴ることがすごく楽しみでした。しかし、いざチームで試合してみると、思のように動けずすごくやしい思いをしました。雨の日もすごく暑い日も、練習を休まないようにがんばりました。六年生になつて、山形県サッカー協会のトレセンに選ばれました。他のいろいろなチームの人と練習や試合ができて、友達も増えてますますサッカーが好きになりました。

練習は楽しいことも、大変なこともあります。これから、さまざまな経験をしてサッカーを上手になりたいです。また、サッカーだけでなく、人としても成長していきたいです。

「Jリーガー・渡部拳人」として、日本代表選手になりたい!

## 野球



遊佐ブルーファイターズ  
スポーツ少年団  
増坂 公奈

ぼくは、三年生で野球を始めてから六年生までの四年間で学んだことはたくさんあります。その中でも、これは大きかったと思えることがあります。

五年生のときの新人戦で、その年の六年生の成績がすごかっただけに「遊佐は今年くるんじゃないか」みたいな感じでした。五年生だけの初めての試合だったので緊張していて、いつもとれるようなライナーははずしてしまつて、流れをもつていかれ、一回戦で負けてしまいました。ぼくは負けるとは思っていませんでした。

試合後の反省会で、かんとかから、「日ごろの練習がここに出るんだ。」と言われ、日ごろの練習態度や心の弱さをおもいりました。次の学年は六年生なので、心をいれかえてがんばろうと思えました。

それから、長い冬があげ六年生になったぼくたちは、つらい冬の練習にたえたかいあり、最初の大会で良い成績をのこすことができました。その後の大会では、自分の全力をだすことができず負けてしまいました。

小学校の四年間の野球にまくを閉じもうすぐ中学生なので、小学校でできなかった全力を出すというのを目標に、中学校でも野球をがんばっていきたいです。

# 大空に翔る

## 第17回山形県少年少女スポーツ交流大会 開催種目 会場一覧 参加者数一覧

No.	種目	開催期日	会場	参加者数
1	柔道	10月4日	山形県体育館主競技場	301
2	剣道	10月4日	南陽市民体育館	482
3	バスケットボール	10月4日	酒田市国体記念体育館 酒田市八幡体育館 鶴岡市藤島体育館 遊佐町民体育館 庄内町総合体育館	869
4	サッカー	10月4日 10月11日	山形県総合運動公園 サッカー場・ラグビー場・第2運動広場 酒田北港緑地グラウンド	444
5	軟式野球	10月4日	鶴岡市西部公園多目的グラウンド 鶴岡市赤川河川緑地野球場 鶴岡市柳引総合運動公園野球場 鶴岡市朝日スポーツセンターグラウンド	343
6	バレーボール	10月4日	鶴岡市朝日スポーツセンター 鶴岡市柳引スポーツセンター 酒田市立第四中学校	490
7	卓球	11月3日	東根市民体育館	237
8	バドミントン	9月27日	新庄市民体育館	262
9	ソフトボール	10月4日	酒田市光ヶ丘多目的グラウンド 遊佐町民スポーツ広場 酒田市立泉小学校	184
10	ソフトテニス	10月4日	鶴岡市小真木原総合運動公園テニスコート	322
11	陸上競技	10月4日	山形県総合運動公園NDソフトスタジアム	461
12	体操	10月3日	酒田市国体記念体育館大アリーナ	77
13	空手道	10月4日	山形県立天童高等学校体育館	209
14	レスリング	10月4日	山形県立山形南高等学校レスリング場	56
15	相撲	10月10日	舟形町猿渡羽根山相撲場	37
16	トランポリン	9月27日	上山市体育文化センター	98
合 計				4,872

「べにばな国体」開催を記念した山形県少年少女スポーツ交流大会は今年で第十七回を数え、十月四日を主会期に、県内各地区二十八会場において十六種目、四、八七二名の参加を得て開催した。

### 県少年少女スポーツ交流大会

## 第36回日独スポーツ少年団同時交流受入事業日程

時間・月日	1日目 7月25日(土)	2日目 7月26日(日)	3日目 7月27日(月)	4日目 7月28日(火)	5日目 7月29日(水)	6日目 7月30日(木)
7:00	7:00 朝食	6:30 起床・清掃	○朝食 各家庭より移動	○朝食 各家庭より移動	○朝食	6:30 起床・清掃
8:00	8:00 大津プリンスホテル出発 (計画輸送バス)	7:30 朝食(館内食) 8:00 海浜自然の家 発(バス)	8:05 酒田港集合 8:45 酒田港 発	8:15 酒田ジャスコ南店駐車場集合	8:30 酒田ジャスコ南店駐車場集合 9:00 海浜自然の家 着	7:30 朝食(館内食)
9:00	伊丹空港 着 10:00 伊丹空港 発(飛行機)	9:00~11:00 剣道体験 (酒田商業高等学校)	10:15 飛島港 着	9:00 フリークライミング開始 (酒田市八幡体育館)	10:00~11:30 カヌー体験	8:30 退所式(敬送式) 9:30 海浜自然の家出発
11:00	11:15 羽田空港 着	12:00 昼食(芳春亭)	海洋活動 (釣り、海水浴、散策、サイクリング) 12:30 昼食(民宿英島屋)	12:00 昼食(外注弁当)	11:45 釜磯海水浴場へ移動 12:00 昼食(外注弁当)	
12:00	12:05 羽田空港 着(飛行機) 13:05 庄内空港 着 14:00 庄内空港 発(バス)	13:00 ゴカート体験 (カートソレイユ最上川)	散策、サイクリング 飛島小学校でのスポーツ 活動およびインターネット	13:00 八幡体育館 発 着 13:30 大成ボウリング場 着	13:00~15:00 磯活動 (釜磯海水浴場)	
15:00	15:00 海浜自然の家 着 15:30 入所式(歓迎式) 生活オリエンテーション	15:00 スポーツ活動・シャワー (庄内町総合体育館)	16:00 飛島港 発	14:50 大成ボウリング場 発 着 15:00 ジャスコ酒田南店 着	15:00 海浜自然の家へ移動 15:45 シャワー 16:15~ ホストファミリーとの さよなら夕食交流会 (野外炊飯場)	
17:00	フリータイム	17:00 酒田市長表敬訪問 (リッチ&ガーデン別荘) 18:00~20:00 ホテルリッチ&ガーデン酒田 での歓迎夕食会	17:30 酒田港 着 17:35 海鮮市場で夕食	ショッピング 解散 ホームステイ先へ移動	18:00 後片付け	
18:00	18:00 夕食(館内食)	20:30~ ホームステイ先へ移動	19:00~20:30 ホストファミリーとのスポーツ活動 (国体記念体育館小アリーナ) 20:30~ ホームステイ先へ移動		19:00 ホストファミリーとの お別れセレモニー フリータイム	
19:00	フリータイム				21:00 入浴 22:00 就寝	
20:00	20:00 入浴					
21:00						
22:00	22:00 就寝					
グループ別	海浜自然の家	ホームステイ	ホームステイ	ホームステイ	海浜自然の家	山形市

七月二十五〜三十日 庄内支部

### 日独同時交流 受入事業

三月三日、山形県スポーツ会館において六十八名が参加して開催されました。研修会に先立ち、山形県スポーツ少年団表彰式を行い、研修会では、スポーツ少年団とスポーツ安全保険の事務取り扱いについての説明を中心に、研修を深めました。

### 市町村スポーツ・スポーツ安全協会研修会

十一月二十八日、飯豊町民総合センター「あくす」において、一〇〇名が参加して開催されました。研修会に先立ち、日本スポーツ少年団顕彰伝達式を行い、研修会では、日本スポーツ少年団常任委員を務める静岡理工科大学理工学部准教授富田寿人氏より「スポーツ少年団の将来像〜これからの指導者・育成母集団〜」と題して講演がありました。更に土門敦氏(立川陸上スポーツ)、佐々木達哉氏(小国柔道スポーツ)より実践発表を行いました。

### 県指導者・育成母集団研修会

### ホームステイ先の紹介

- 大滝 美里 (酒田市)
- ベアテ プロイアー (指導者)
- デニス ルーン
- 阿部 紘佳 (酒田市)
- ユリアナ ベンゼル
- 工藤 広大 (酒田市)
- トム ベゲリッヒ
- 佐藤 春香 (酒田市)
- ブリッタ スティール
- 佐藤 遼 (酒田市)
- ジョニー シェードリッヒ
- 柴田由梨佳 (酒田市)
- アンドレアス クローゼ
- 松本 拓未 (酒田市)
- マキシミアン ブンデル
- 小野寺 翠 (酒田市)
- リサ マリエ フランク

## スポーツ少年団認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会

受講者 450名 合格者450名

地区・コース名	期 日	会 場	受講者	認定者	保留者
村 山 (東南)	11月28日(土)~29日(日)	山形市スポーツ会館・江南体育館	100	33	67
村 山 (西)	12月12日(土)~13日(日)	西川交流センターあいべ	42	11	31
村 山 (北)	11月21日(土)~22日(日)	尾花沢市文化体育施設サルナート	81	19	62
最 上	11月7日(土)~8日(日)	鮎川村中央公民館	50	19	31
置 賜	12月12日(土)~13日(日)	高島町営体育館	85	36	49
庄 内 (田川)	11月14日(土)~15日(日)	鶴岡市朝陽武道館	58	26	32
庄 内 (飽海)	10月24日(土)~25日(日)	酒田市武道館	34	20	14
合 計			450	164	286

「認定員」資格を認定された指導者に対しては、(財)日本体育協会公認「スポーツリーダー」資格も与えられます。今年度の参加者四五十名の内、一六四名を認定し、二八六名を認定保留としました。なお、保留者については、二十二年度登録することにより認定されます。

### 認定員養成講習会

日本スポーツ少年団指導者制度が変わり四年目、七会場で開催しました。自宅学習二十一時間、集合講習十一科目十四時間の講習会後に検定試験を実施。また、この認定員講習会を終了し、

県の動き

表彰

○生涯スポーツ表彰  
 (優良団体) 大蔵一球スポーツ少年団(大蔵村)  
 ○日本スポーツ少年団顕彰受賞者  
 (市区町村表彰) 庄内町スポーツ少年団  
 (表彰指導者) 叶敬一(中山町)、森俊悦(村山市)、渋谷幸一(鶴岡市)、伊藤金栄(小国町)、原田薫(鶴岡市)  
 (感謝状退任指導者) 加藤芳雄(上市市)、松田敏男(大江町)

○山形県スポーツ少年団表彰受賞者  
 (優良団) 鈴川野球スポーツ少年団(山形市)、鈴川剣友スポーツ少年団(山形市)、寒南剣道スポーツ少年団(寒河江市)、尾花沢アルペンスポーツ少年団(尾花沢市)、富沢スポーツ少年団(最上町)、まほろば尚武剣道スポーツ少年団(高島町)、小国柔道スポーツ少年団(小国町)、稲穂サッカースポーツ少年団(鶴岡市)、朝日バレーボールスポーツ少年団(鶴岡市)、三川柔道スポーツ少年団(三川町)  
 (功労者) 安藤則男(山形市)、吉田朝夫(山辺町)、佐藤淳二(寒河江市)、伊藤勝悦(村山市)、長南泰久(大蔵村)、中川広幸(高島町)、小松和浩(飯豊町)、佐藤八男(鶴岡市)、白旗学(鶴岡市)、加藤忠彦(庄内町)

■各級スポーツ少年団資格取得者  
 ○認定員養成講習会兼スプーリター養成講習会 七コース開催  
 参加者四五十名(内一六四名認定)

○全国指導者研究大会  
 六月二十一日 東京都 二十二名参加

○全国スポーツ少年大会  
 八月一〜四日 群馬県

(指導者) 上野和義(鶴岡市)、(団員) 佐々木理、佐藤順樹、栗田健太郎、渡部実夢、八幡日向、鈴木桃佳、山本航(鶴岡市)  
 ○日独同時交流派遣  
 七月二十〜八月十一日 二三日間  
 (団員) 佐藤椋太、上村優太(鶴岡市)  
 ○シニアリーダースクール  
 八月十三〜十七日 静岡県  
 斎藤菜、笹原瑠偉、山本航(鶴岡市)  
 ○全国リーダー連絡会  
 十月三〜四日 東京都  
 (指導者) 上野和義(鶴岡市)、(リーダー) 山田都茂美、工藤直美(白鷹町)

○東北ブロックスポーツ少年大会  
 七月三十一〜八月一日 秋田県  
 (指導者) 廣川由香(小国町)、(団員) 加藤尚輝、阿部慶作、佐藤愛一郎、西塚瑞葉(尾花沢市)  
 ○北海道・東北ブロックリーダー研究大会  
 十一月二十一〜二十三日 青森県  
 (指導者) 上野和義(鶴岡市)、廣川由香(小国町)、(リーダー) 山田都茂美、工藤直美(白鷹町)、三上新一郎(長井市)、斉藤菜、山本航、鈴木桃佳(鶴岡市)

○全国スポーツ少年団競技別交流大会  
 【サッカー】(第三十三回) 八月一〜八日 福島県・東京都 山形FCジュニア(山形市)【バレーボール】(第七回)三月二十六〜二十九日 広島県 おぐにバレーボール(小国町)【剣道】(第三十二回)三月二十七〜二十九日 徳島県 琢誠剣士会(最上町)、東山錬成会、新庄地区柔剣道錬成会(新庄市)  
 ○東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会  
 【軟式野球】七月十九日 福島県 大郷ベースボールクラブ(山形市)【サッカー】

七月二十五〜二十七日 岩手県 OSAFオルトナ山形フットボールクラブ(山形市)、F・Cやまぼうし(寒河江市)、神町FC(東根市)【柔道】十一月二十八〜二十九日 秋田県 南沼原柔道(山形市)、東根市柔道教室(東根市)、戸沢道場柔友会(戸沢村)、朝暘武道館柔道(鶴岡市)【ミニバスケットボール】三月十三日〜三月十四日 福島県 寒南ミニバスケットボール(寒河江市)、K・Bティップスミニバスケットボール(米沢市)、白鷹ミニバスケットボール(白鷹町)、城北ミニバスケットボール(鶴岡市)、大山ミニバスケットボール(鶴岡市)  
 ○県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダースクール  
 八月七〜九日 飯豊少年自然の家にて開催。十一名の団員をジュニアリーダーとして認定。少年大会の部四十二名の団員、指導者十八名参加

●編集後記●

日本スポーツ少年団は、昭和三十七年に「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に創設された。以来四十八年が経過し、生活様式や価値観の多様化、少子化の進展等社会情勢や青少年を取り巻く環境が激変する中、スポーツ少年団をめぐる諸事情も激変してきている。

そんな中、平成二十一年六月に「スポーツ少年団の将来像」が提示された。今後は、「スポーツ少年団の将来像」を参考にして、地域特有の課題や事情に合わせて、具体的な振興施策を立案し、一層充実したスポーツ少年団活動が、各地で展開されることを期待して、特集記事として掲載させて頂いた。

編集委員

- 委員長 志村 忠夫  
 副委員長 堀 啓治  
 委員 柏倉 政男、安野 重幸、藤山 一榮、三上 重幸、橋本 吉明、上野 義弘、佐藤 俊次、柴崎 啓一、五十嵐昭比呂



より便利に  
より安心に!!  
 保険内容を  
改定しました

傷害保険 賠償責任保険 共済見舞金

# スポーツ安全保険

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

財団法人 **スポーツ安全協会** 山形県支部  
 (山形県体育協会内)

〒990-2412 山形市松山2丁目11番30号 TEL 023-642-8321 電話受付時間:午前9時〜午後5時(土、日、祝日を除く)

http://www.sportsanzan.org

●資料請求は、インターネットより受付しております。

(財団法人)  
 東京海上日動火災保険株式会社 公認第2種第1種 TEL 03-6223-2607(平日9:00-17:00)  
 (共同引当保険会社(平成21年4月予定)) ※手帳なく変更となる場合があります。  
 共済 共栄 火災 損保ジャパン 火災 火災 東京海上日動  
 火災 火災 ニッセイ(現瑞穂) 日本興業損害 火災 三井住友海上  
 平成20年12月現在 1310-08-091